

プログラム情報収集・参加者交流・エリア回遊MAPなどの多彩な機能を搭載した
MICE 参加満足度を向上させるアプリを開発
大阪・梅田でのエリア MICE 開催にあわせて実証を行います
～ 阪急阪神不動産と Palames との協業でMICE誘致を加速させていきます ～

阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：福井康樹）は、筑波大学発のベンチャーである株式会社 Palames（本社：茨城県つくば市、代表取締役：熊谷充弘）と協業し、Palames 社が提供しているイベントガイドアプリ「dokoiko」において、エリア MICE※開催支援機能を開発しました。本機能は主に、9月に開催する国際フォーラムプログラム「地域再生甲子園 2025」で実証を行い、参加者同士のコミュニケーション機能をはじめ、エリアマップや電子クーポンのほか、エリアイベント情報など、街の回遊性を高めながら、MICE 参加を快適にサポートします。また、効率的な運用やエリア内の経済活性化の観点から、MICE 主催者だけでなく、開催都市も便益を享受することができます。

これらの取組も通じ、MICE 主催者・参加者・開催都市の3者の満足度を向上させていくことで、大阪・梅田エリアの MICE 開催都市としてのポテンシャルを向上させていきます。そして、今後も同エリアが MICE 主催者選ばれ、多数の MICE が開催されることを期待しています。

※M I C E…会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議（Convention）、展示会・イベント（Exhibition/Event）の頭文字で、ビジネスイベント全般の総称。

エリア MICE…施設にとどまらず都市全体を会場とし、地域の魅力を活かすことで深い体験と広範な経済効果をもたらす、「街全体を舞台にした MICE」の手法。



大阪・梅田でのエリア MICE 開催時のデジタルマップ（イメージ）

■エリア MICE 開催支援機能の主な特徴について

イベント情報を効率的に配信し、来場意欲と回遊性を高めることが可能なプラットフォームであるイベントガイドアプリ「dokoiko」を、MICE 向けに機能強化しました。MICE の参加者登録やイベント中の参加者同士のコミュニケーション、周辺施設への周遊やエリアイベント情報などをパッケージとしてサポートしています。

①参加登録・管理（チケット決済・発券を含む）、クーポン発行

イベント情報のページ制作に加え、参加者の登録管理、チケット購入の決済や発券をすべてアプリ内で完結させることにより、ユーザーの利便性向上に加え、主催者の効率的なイベント運営を可能にします。また、地域再生甲子園の参加者に限定したクーポンを提供することで、主催者の満足度向上も実現しました。

②参加者同士のコミュニケーション促進

プロフィールの情報公開を承諾頂いた方に限り、アプリ内の地域再生甲子園のイベントページにおいて、他の参加者情報が閲覧できることに加え、チャット機能による参加者同士のビジネス交流が可能です。

③エリアマップの充実（「梅田エリア MICE」モードの設定）

主に同エリア内で9月中に行われるビジネスを含むイベント情報を収集し、来街者に対し様々な MICE 情報を提供するとともに、同エリアにおけるイベント情報のプラットフォームとなることを目指します。加えて期間中は、dokoiko アプリにおいて「梅田エリア MICE モード」が設定され、梅田エリアの情報が優先的に表示されるようになります。

④高い操作性と柔軟な開発体制

スムーズで直感的に使用しやすい設計に加え、アプリユーザーの個別のニーズに応じた柔軟な機能拡張を可能とする開発体制により、上記①～③の機能提供を可能としました。

■今後の展開について

本アプリは、9月5日（金）～7日（日）に開催される国際フォーラムプログラム「地域再生甲子園 2025」において、実証実験を行い、その実用性や利便性等について検証します。検証結果もふまえ、イベントガイドアプリ「dokoiko」から独立した単独アプリの開発も検討しています。

■参考

①イベントガイドアプリ「dokoiko（ドコイコ）」について

MICE への来場意欲を喚起するとともに回遊性を高め、主催者が担う業務の効率化を実現するイベントガイドアプリです。イベント主催者の課題に対し、検索・詳細表示もできる“デジタルマップ”や出展者が情報をタイムリーに更新できる“共同編集システム”などを提供しています。

広域エリアからイベント内の出展ブースまで、シームレスなデジタルマップで一元的な情報配信が可能で、検索機能も充実しています。さらに、各種データと連動させることで、イベントや施設の多彩な情報を網羅して提供し、地域全体の活性化と、暮らしの安心と豊かさの向上に貢献します。

②開発背景と Palames との協業について

阪急阪神不動産と日本スタートアップ支援協会では、新たな価値創造と未来のまちづくりを目指すピッチイベントとして「阪急阪神不動産事業共創 AWARD」を共催しています。2024 年度の同アワードで、株式会社 Palames が優秀賞を受賞したことがきっかけとなり、この協業は実現しました。

以 上

【アプリ利用イメージ】

①参加登録

イベントページやQRコードから、参加登録してください。基本情報や主催者からのカスタムフォームに入力をいただき、チケットの選択と決済が完了するとアプリ内で電子チケットが発行されます。



参加登録いただいたイベントの電子チケットや、周辺施設の電子クーポンなどをご利用いただけます。スクリーンショット等の不正防止機能も備えています。



②コミュニケーション機能

同一イベントへの参加者間でメッセージのやりとりが可能です。当日のカジュアルなネットワーキングはもちろん、事前のアポイントメントやセッションに関する意見交換等にご利用いただけます。



③ 専用モード・デジタルエリアマップ機能

アプリ内で「梅田 MICE モード」を選択すると、アプリ内で梅田エリア情報が優先的に表示され、梅田エリアの情報収集が容易になります。



【地域再生甲子園 2025 とは】

地域再生甲子園実行委員会（阪急阪神不動産と日本政策投資銀行、日本経済新聞社大阪本社で構成）が主催する国際フォーラムプログラム。産・官・学に加えて、金融機関と報道機関が連携して先進的な再生地域を選抜し、日本政府が推進する戦略「地方創生2.0」に沿った新たな地域再生モデルを議論・創出することを目指し、大阪・梅田エリア一帯で開催する（開催日：9月5日（金）～7日（日））。

本プログラムでは、地域再生の成功事例を有する地域が全国から選抜され、「甲子園」の名のもとに集結し、その手法を披露して発信・共有し、これらを「成功モデル」として地域同士の連携を深め、水平展開することにより、地域再生を加速させることを最大の目的としている。

地方創生2.0の挑戦

地域再生 甲子園2025